

(3) 高井戸自転車集積所の廃止、放置対策の現状と今後の検討について

1. 高井戸集積所の廃止

① 背景

- ・区立自転車駐車場の整備や、民営自転車駐車場の整備に伴い、区内の放置自転車の数は20年前と比べると減少している。
- ・放置自転車の減少により、撤去台数も減少している。
- ・撤去した自転車を保管する先の集積所について、過去5年間の撤去台数等データ分析を行った。その結果、高井戸自転車集積所を廃止しても保管、返還業務に支障がないことを確認。

※詳細は、参考資料1・参考資料2のとおり

② 廃止年月日

令和7年9月30日（火）



2. 放置自転車の現状と今後の検討

① 現状

- ・通勤・通学者の自転車の放置は概ね無くなり、駐車場を利用することが定着している。
- ・放置自転車の大半が買い物や所用での短時間放置となっており、放置箇所に入れ替わりながら置かれて行くので、常時放置自転車が滞留している状態である。
- ・巡回業務において、1巡回あたり0から4台の撤去が約8割となっている。
- ・買い物客などによる放置自転車が多い南阿佐ヶ谷地域でみると、警告札を貼り付けた放置自転車の約9割が撤去には至らない。

地域	令和6年度の貼付した警告札枚数(枚)	撤去した台数(台)	撤去に至る率(%)
区内全域	51,321	7,413	14.44
南阿佐ヶ谷駅周辺	4,464	226	5.06

② 今後の検討

- ・短時間での放置が多い箇所に重点を置き、啓発・撤去業務を行う。
- ・高井戸自転車集積所の廃止も踏まえ、撤去移送時に駅を集約するルートを検討し、移送車両台数の適切化を図る。
- ・効果的な放置自転車の対策の一つとして、自転車放置者に対して自転車駐車場の利用を促す啓発を行い、自転車駐車場に誘導するなど、自転車駐車場の管理・運営との連携の可能性も含めて検討していく。